

# 演習Ⅱ

担当者 狭間 恵三子

開講時期 通年 単 位 8

## ●講義の概要

修論テーマに従い、論文作成に必要な文献、先行研究、調査方法、文章作成などの個別指導を行う。

## ●講義の到達目標

受講生自らが設定した研究テーマに基づき、研究課題の深化をはかり、修士論文を完成させる。

## ●講義計画

修論の中間報告会（10月）、1月の提出を目途として計画を進める。

### 前期

- ・先行研究レビューの整理、批判的考察を行い、リサーチクエスションを明確にする。
- ・修論に必要な調査データの収集・分析を行う。
- ・修士論文の構成案を作成し、必要な資料の収集、分析を進める。夏期休業明けには、草案を提出する。

### 後期

- ・中間報告会までに、論文の章別構成を確定し、調査資料や分析内容、考察を行う。修士論文原案を的確に取りまとめ、中間報告の準備を行う。
- ・中間報告会における指摘や質疑を踏まえ、修士論文の完成に向けて、更なる考察、分析、整理等を行い、論文を完成させる。

## ●成績評価基準と方法

授業時の研究成果報告、中間報告、修士論文の完成度を総合的に評価する。

授業時の研究成果報告（30%）、中間報告会の内容、質疑応答（20%）、修士論文の構成作成、調査能力、論理的な文章作成能力（50%）。

## ●テキスト又は参考文献

テキストは特に定めない。修士論文テーマに関する文献や資料などを適宜紹介する。

## ●受講上の留意点

受講生自らが問題意識を持って研究テーマに向き合い、論理的で信頼性のある修士論文を作成すべく努力を重ねてください。